

平成20年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

| | | | |
|--|---------------------------|------------|-------------------------|
| プログラム名 | 女性の再チャレンジ支援プログラム | | |
| 事業名 | 女性のための医療事務トータルサポート支援プログラム | | |
| 法人名 | 学校法人 新潟総合学院 | | |
| 学校名 | 新潟会計ビジネス専門学校 | | |
| 代表者 | 理事長 渡辺 敏彦 | 担当者 連絡先 | 藤田 麻衣子 (025)244-8010 |
| <p>1. 事業の概要</p> <p>離職中の女性を対象として医療事務を学び直す職業訓練事業を実施した。訓練は新潟会計ビジネス専門学校の校舎にて日中に実施し、受講料は無料とした。受講修了後に履修証明書を発行することにより、再就職が期待できる。受講生募集の方法は講座紹介リーフレットを作成・配布するのみであり、役場、ハローワーク、図書館、市民会館等の公共施設へ設置させて頂いた。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>実証講座は平成20年11月13日～12月12日まで20日間120時間実施した。講座には14名の申し込みがあり、11名が修了した。参加者の医療事務習得状況に差があり苦労はしたが、最終的には身のある講座となった。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>医療事務の経験者に対し、その能力を更にレベルアップさせることができる講座を実施することができ、大きな収穫を得られた。参加者は診療報酬請求事務能力認定試験(医科)に修了者10名中7名が合格し(修了者の内1名は取得済、全国合格率27%)、実証講座の成果を証明することができた。就職も2009年2月末現在で6名が決定した。</p> <p>③今後の活用</p> <p>成果物を利用し、今後も同様のプログラムを継続して実施して行く。</p> | | | |

④次年度以降における課題・展開

報告書(成果物)を作成。次年度以降の講座にも活用できる素晴らしい成果物を作成することができた為、この成果物を使い、次年度以降に同様の講座を実施して行きたい。ただし、無料講座の提供は厳しいため、広報費・人件費等との兼ね合いを考え、受講料を設定する必要がある。また、その際は受講生をどの程度の人数を集めることができるかが未知数なことと、受講に際しての意識付けが欠かせない。

しかしこの度の実証講座の結果を踏まえ、次年度以降に実施する講座カリキュラムは更に良いものを提供できると思える。

3. 事業の実施に関する項目

①履修証明書等

120時間の実証講座を実施。学校独自の履修証明書を修了者(11名)に交付した。

②カリキュラムの内容

講座検討委員会での結果を踏まえ、

① 病院管理学 30h ② 医療関連法規 30h ③ 解剖生理学 9h ④ 医療保障制度 6h ⑤ 医科点数表の解釈 6h ⑥ 医療事務演習 39h 計120時間 を実施した。

これからの医療事務員の養成は医療事務ができるだけでは片手落ちであるというコンセプトのもと、幅広い医療関連の知識を取得するための実証講座を実施した。このことは再就職の際に強い武器となると確信できる。

③講座の実施

医療事務レベルアップ講座と名付け、講座申込者14名を対象に平成20年11月13日～12月12日まで20日間120時間を実施した。受講生のレベルにはかなりのバラツキがあり、最初は戸惑ったが、最終的に満足できる実証講座となった。

④支援対象者(受講者)の状況

受講生毎のレベルの差が想像以上に大きく、初心者に教えるよりも苦勞した講座となった。「教えて貰う」というスタンスの受講生が多く、自ら学びとろうとしないため、身に付くスピードは遅かった。

実証講座修了後も、受講生と連絡を密にとり、再就職のフォローアップを継続している。今回の実証講座には就職試験のための直接的な対策時間はとらなかったため、こういったフォローは欠かせないものとなっている。